

| | | | | | | | |
|------|----|-----|------|----------------------|----|-----|---|
| 教科名 | 芸術 | 科目名 | 美術 I | 学年 | 1年 | 単位数 | 2 |
| 準教科書 | | | 副教材 | 授業で使用する材料等を指定の販売日に購入 | | | |

1 担当者からのメッセージ

美術は決して難しいものではありません。子供の頃感じるまま色を塗り、形を作っていた頃の気持良さを思い出して下さい。

上手くなくてもかまいません。表現は自由です。目に見える事だけが全てではありません。目に見えない事にも表現できる面白さはあります。

2 学習の到達目標

平面・立体に関わらず、各課題ごとに作品の完成イメージを頭の中に描きます。必要な資料はそれぞれの方法で探し出します。そして、下絵を何枚かスケッチし、具体化していきます。単純に心地良い、楽しい、美しい、ワクワクする等々。心に響く作品になっているかは、自ら判断しテーマに添ってメッセージ性があれば、まずは完成の到達目標となります。そのような判断できる目を養うには多くの先人のすばらしい作品にふれ、観ることです。そうすれば自然と身に付くものです。

3 学習計画

| | | 単元名（学習項目） | 学習内容（ねらい） |
|----|----------|---------------------------------|---------------------------|
| 前期 | 前期 中間 | ・色と形の色彩表現 ・美術史・先史から中世 | 基本的な形の構成とイメージに合う色彩表現 |
| | 前期 期末 | ・テーマに添って平面・立体制作 ・美術史・中世から近世 | 社会が必要としている美術とはを、作品制作を通して絵 |
| 後期 | 後期 中間 | ・版表現（木版画） ・美術史・近世から現代 | 版（木版）を通して作品化する基礎的な技術を学ぶ |
| | 学年 末 | ・ストーリーを描く（絵本・漫画） ・美術史・近代から現代 | 想像・イメージの世界を絵本・漫画などを通して作品化 |

4 観点別評価

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------------------|----------------|-------------------------|
| 美術で使用される画材用具の理解と適格な使用 | 発想の豊かさと色と形の表現力 | 完成を目指し諦めることなく集中して制作する態度 |

5 評価方法

計70時間（50分授業）

各自の授業の取り組み方が一番の評価判断です。そして課題に対し、工夫・研究がなされ、豊かなイメージと作品の完成度が総合評価となります。